

CITIZEN

Micro HumanTech

Cincom

1957 主軸台移動形カム式自動盤 C-7 完成。時計部品加工用の社内試作機として現在でも多くの機械が稼働している。

1970 時計部品加工用の社内試作機をユーザーの希望に応え D-16 として販売。Cincom を冠した初めての機械となる。

1980 世界に先駆けてツインタレットを搭載した NC 自動旋盤 F12 完成。

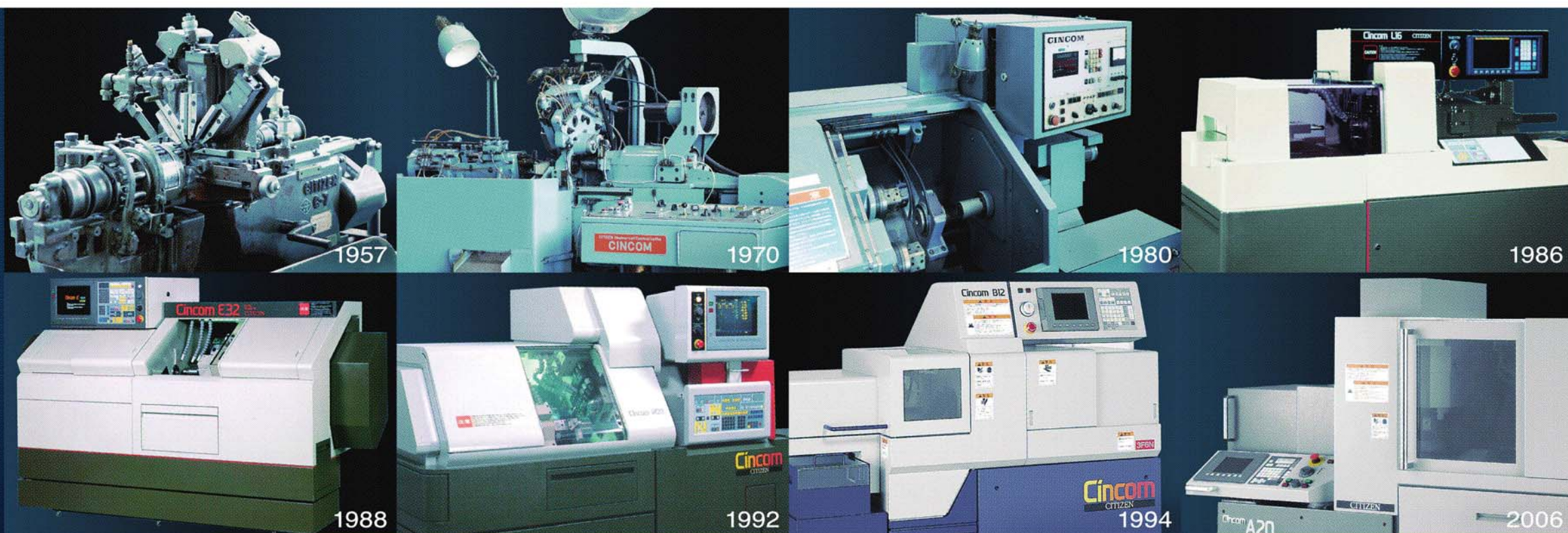
1986 L16 完成。くし刃を搭載した本機は、主軸移動形 NC 自動旋盤のデファクトスタンダードとなる。

1988 E32 完成。2スピンドル&デュアルタレット構成で、多軸多系統混合制御・重畳 / 同期制御を実現。

1992 タレット + くし刃を搭載した M20 完成。NC 複合自動旋盤のデファクトスタンダードとなる。

1994 全ての動作を NC がサーボコントロールする、フルサーボ機 B12 完成。

2006 バリバリ削れるシンコム。コストパフォーマンスに優れた高剛性機 A20 完成。



ありがとう 10 万台

おかげさまで1970年のNC自動旋盤の発売より、累計出荷10万台を達成しました。

Miyano

1948 ライターヤスリのブランク加工自動化の夢が、戦後初の自動盤 AL-S25 の完成へと繋がった。

1968 NC タレット自動盤 MTN-300 開発。機械各部の恒温化やチップコンベアによる切粉排出等、多くのアイデアを詰め込んだ意欲作であった。

1970 低価格・省スペース・使いやすさをコンセプトに開発された MT4-B12 は、初の純国産多軸自動盤となる。

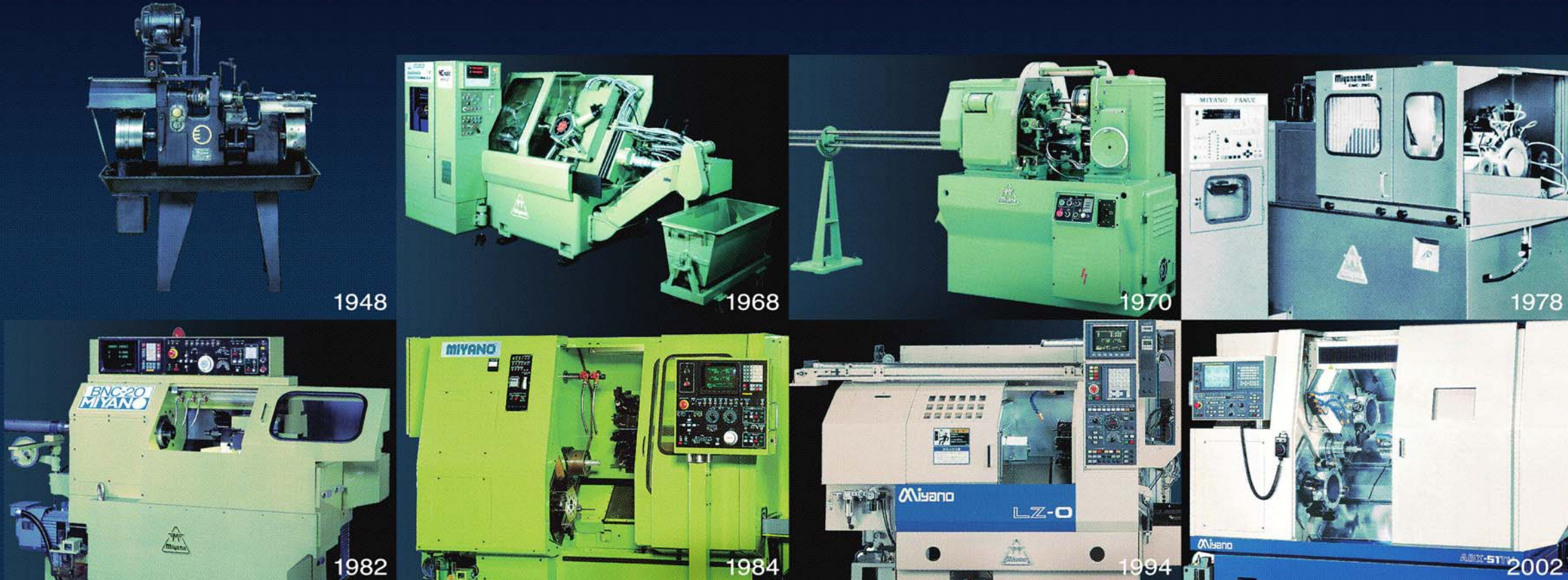
1978 パー & チャッカー機 CNC-7BC 完成。NC 自動盤として初めて販売を開始。

1982 BNC-20 完成。シリーズ累計 1 万台を超えるヒット商品となり、ミヤノを代表する 1 台となった。

1984 ANC-45 完成。同時加工・複合加工・背面加工によるワークの完品加工を実現し、省人化運転を可能にした。

1994 セルフローダー搭載でサービスタイムの短縮を実現したチャッカー機 LZ-0 完成。

2002 モジュール構造による最適生産を実現した ABX シリーズ完成。



2014 年 シチズンマシナリーミヤノは、
累計20万台に向けて皆様と共に前進してまいります。

新・自動盤

2012 モジュールの組合せで加工工程を最適配分。マルチステーションマシンングセル MC20 完成。

2013 低周波振動切削で切削技術の新たな境地を開拓。VC03 完成。



2012

2013

「個の量産」

いろんな一つを、たくさんつくる

コモディティ化・標準化に伴う「大量生産・大量販売」と、顧客ニーズの多様化・個性化に伴う「多品種少量生産・変種変量生産」という両極のトレンドが共存する21世紀では、「量」への効率性と、「個」への多様性を追求するモノづくりが求められます。

私たちはこの相反する「量」と「個」を両立・融合した「革新のモノづくり」を21世紀に求められる新しい価値と考え、「個の量産」という言葉で表現しました。

そして、この『個の量産』の実現により、新たな付加価値を提供し社会に貢献することを私たちの事業ビジョンとしています。